



岩手県知事 達 増 拓 也 様

国保診療施設等の医師確保に関する要望書

令和4年8月22日

岩手県盛岡市大沢川原三丁目7番30号

岩手県国民健康保険団体連合会

理事長 谷 藤 裕 明



国保診療施設等の医師確保に関する要望書

国保診療施設等の市町村立病院・診療所は、地域に根ざした保健医療福祉活動を実践する施設として、県民医療の一翼を担う重要な使命を果たしてきたところですが、今般の新型コロナウイルス感染症の対応においては、県立病院とともに、地域住民の命と健康を守る役割の重要性が再認識されているところです。

しかしながら、本県の医師不足は極めて厳しい状況にあり、国保診療施設等の開設者である市町村においては、医師確保を最重要課題と位置付けておりますが、本県の地域医療の確保を目的とした市町村医師養成事業においては、養成医師の義務履行先として国保診療施設等に十分に配置されていないのが現状であり、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すためにも、医師の安定的な確保が急務となっています。

県におかれましては、医師確保対策の一環として取り組まれている岩手県奨学金養成医師配置調整会議などにより、養成医師の中小病院等への配置に御配慮いただいているところですが、特にも、国保診療施設等の医師配置について御尽力いただきますよう、以下の点について、強く要望いたします。

記

- 1 市町村医師養成修学資金をはじめ、岩手県医師修学資金及び医療局医師奨学金で養成した医師の国保診療施設等への配置に御尽力いただきたいこと。
- 2 自治医科大学卒業医師の国保診療施設等への配置を拡充されたいこと。
- 3 市町村及び当連合会は、連携しながら代診医の確保を含め、国保診療施設等の医師確保に努めているが、県においても引き続き御支援いただきたいこと。